

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

平壤の弁理士事務所

—平壤知的資源交流所

2018年1月22日付『朝鮮新報』によれば、知的財産権に関して、という特許権申請などを代行する機関(弁理士事務所に相当すると思われる)として1982年に設置された「平壤特許及び商標代理所」が、2004年に「平壤知的資源交流所」と改名されたとのことである。同交流所は、国内業務だけでなく、国際業務も行っているという。

平壤火力発電連合企業所で電力増産の努力

2018年1月26日付『朝鮮新報』によれば、平壤市に所在する平壤火力発電連合企業所で、電力増産のための努力が続けられていることが報じられている。チョ・チュヨン支配人(社長)によれば、電力増産は科学技術の力によるところが大きく、2017年には30余件の技術革新と取り入れ、生産原価を減らしながらも電力を増産できるようにしているとのことである。

金正恩国務委員長、平壤トロリーバス工場を現地指導、新型バス試運転も

2018年2月1日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長は平壤市にある平壤トロリーバス工場を現地指導した。同工場は新たに設備が更新され、設備の国産化水準が92%に達したとのことである。また、同月4日付『朝鮮中央通信』は、金正恩国務委員長を招待して、新型のトロリーバスの試運転が行われたことを伝えている。

平昌オリンピック開会式参加のために北側高位級代表団が南側を訪問

2018年2月5日付『朝鮮中央通信』は、平昌オリンピック開会式参加のために金永南最高人民会議常任委員会委員長を団長とする高位級代表団が南側を訪れるであろうと報じた。同代表団は同月9～11日に韓国を訪問した。

農業支援の携帯アプリ開発

2018年2月7日付『朝鮮新報』によれば、

「農業気象」という農業支援携帯アプリが人気を呼んでいるという。このアプリは、気象情報交流所と気候研究所が共同で開発したもので、利用者の所在する地域の天気予報と、月単位、季節単位の気候情報を入手できるとのことである。

『朝鮮新報』が教育委員会副委員長のインタビュー記事掲載

2018年2月9日付『朝鮮新報』は、教育委員会チョ・ Cholプ副委員長のインタビュー記事を掲載した。2017年に義務教育年限を1年延長したことに関連した質問の他、2018年の「新年の辞」における教育陣容を強化し、現代の教育発展の趨勢に合わせて教授内容と方法を改善することに関連した対策についても質問が行われており、興味深い内容となっている。

外務省スポークスマン、米朝首脳会談に対する質問に回答

2018年3月3日付『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮の外務省スポークスマンは米朝首脳会談に関する朝鮮中央通信記者の質問に回答した。

平壤市内で包装キムチ販売網の拡充

2018年3月5日付『朝鮮新報』は、2016年に開業した柳京キムチ工場が平壤市内に幅広い奉仕網(直売店)を展開している様子を報道している。同工場は150グラム、200グラム、500グラム、5キロのラインナップで包装したキムチを販売し、唐辛子の醤油漬けなどの野菜加工品も生産、販売しているとのことである。

平壤市の光復通りでレンタル自転車事業

2018年3月15日付『朝鮮新報』は、「自転車共同利用体系による賃貸奉仕」と題して、平壤市の光復通りでレンタル自転車事業が行われていることを紹介する記事を掲載した。同記事によれば、平壤市の光復通りに5カ所の自転車レンタル事業所が毎日6～24時の間運営されており、非接触カードによる自動サービスが利用できるとのことである。

朴奉珠総理が黄海南道の農業関連施設を視察

2018年3月20日付『朝鮮中央通信』によれば、朴奉珠総理が黄海南道海州市にある海州連結農機械工場と延安郡梧岷協同農場をはじめとする農業関連施設を視察した。現地で行われた協議会では、農機具増産や分組管理制の中での圃田管理責任制の優越性を発揮する問題、二毛作面積の拡大、多収穫運動などが議論されたとのことである。

第1回平壤国際声楽コンクール開催

2018年3月23日付『朝鮮中央通信』によれば、2018年4月5～12日、故金日成主席の誕生日(4月15日)を記念した第1回平壤国際声楽コンクールが開催された。

朴奉珠総理が両江道三池淵郡の建設現場を視察

2018年4月2日付『朝鮮中央通信』は、朴奉珠総理が両江道三池淵郡の建設現場を視察したと報道した。朴奉珠総理は、三池淵池端駅、三池淵青年駅建設現場等を視察したとのことである。

同記事ではまた、金正恩国務委員長が、2017年12月に同郡を訪れ、朝鮮革命の始原である三池淵郡を全国の模範郡、モデル郡とするように強調したことが紹介されている。

中国人民志願軍烈士廟リニューアル工事開始

2018年4月6日付『朝鮮中央通信』は、同日に中国人民志願軍烈士廟リニューアル工事が始まったと報じた。

朴奉珠総理が江原道元山市と洗浦地区を視察

2018年4月7日付『朝鮮中央通信』は、朴奉珠総理が江原道元山市の元山葛麻海岸観光地区建設現場と洗浦地区畜産基地の運営状況を視察したと報じた。

第29回万景台賞国際マラソン競技大会開催

2018年4月10日付『朝鮮新報』によれば、同月8日、第29回万景台賞国際マラソン競技大会が平壤で行われた。同大会で

はフルマラソン、ハーフマラソン、10キロ、5キロの競技が行われ、専門家部門と愛好家部門に分かれて競技が行われた。

『労働新聞』が全般的12年制義務教育に関する社説掲載

2018年4月10日付『朝鮮中央通信』によれば、同月9日、朝鮮労働党中央委員会政治局会議が金正恩朝鮮労働党委員長の指導の下、行われた。同会議には、長箭洞同等中央委員会中央委員会政治局常務委員会委員と、党中央委員会政治局員、同候補委員が参加した。

同会議では、まず最高人民会議第13期第6回会議に提出する「主体106(2017)年国家予算執行状況と主体107(2018)年国家予算について」を討議した。次に、最近の朝鮮半島情勢の発展に対する金正恩委員長の報告があった。同報告では、2018年4月27日に板門店南側地域「平和の家」で開催される北南首脳対面と会談と、当面の南北関係の発展方向と米朝対話の展望についての言及があった。

金正恩委員長は、党中央委員会政治局のメンバーの最近の事業の実態を具体

的に指摘し、革命の指揮メンバーとしての責任と役割をより高く発揮していくことについて強調した。続いて、国家のすべての部門、すべての単位で自力更生の革命の旗を恒久的に堅持しつつ、自体の技術的力量と経済的潜在力を総動員して、国の経済発展5カ年戦略遂行の第3年目にあたる今年の闘争課題を必ず実行することにより、経済戦線全体で活性化の突破口を開いていくことに対してについて言及した。

ERINA 調査研究部主任研究員
三村光弘